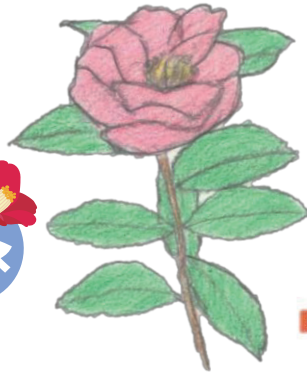
川口市立 グリーンセンター 植物見どころマップ 初冬



⑥ サザンカ（ツバキ科ツバキ属）

見頃：11～2月

日本の固有種であり、川口市の木として制定されています。ツバキと比べて開花時期が早く、花びらが一枚ずつバラバラに散ることが特徴です。

⑤ フユザクラ（バラ科サクラ属）

見頃：11～1月

春と冬に年２回開花する桜です。全体の花芽の1/3が冬に咲き、残りは春に咲きます。花は一斉に咲かせず、下枝から順番に咲きます。

① ニホンスイセン

（ヒガンバナ科スイセン属）

見頃：12～2月

白い花びらと中央のラッパ状の黄色い副花冠が特徴的で、一本の花茎に多くの花を咲かせます。爽やかな甘い香りを楽しむことができ、香水の原料にも使われています。

② 山野草園

- **シモバシラ（シソ科シモバシラ属）**

見頃：12～1月

冬になると枯れた茎に霜柱が出来る様子からこの名前が付けられました。根から吸い上げられた地中の水分が茎の表面に滲み出て、それらが外気に触れることで凍ります。気温が氷点下でないとみられないことに加えて、天気や風の強さも影響するため、観賞することが出来るのはかなり希少です。

- **マンリョウ**

（サクラソウ科ヤブコウジ属）

開花時期：11～1月

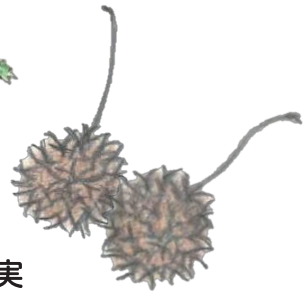
センリョウ(千両)よりも実が赤く大きいことからマンリョウ(万両)と名付けられました。このことから縁起植物として庭木や正月飾りとして親しまれています。

④ セイヨウヒイラギナンテン

（メギ科ヒイラギナンテン属）

見頃：11～1月

黄色い花を房状につけ、上向きに咲かせます。葉がヒイラギに似ていることからこの名前が付きました。初夏には青い実を付けます。



③ モミジバフウの実

（フウ科フウ属）見頃：11～1月

トゲトゲとした球状の姿が特徴的です。実の中にある種子を飛ばし終えると、穴の空いた実を地面に落とします。クリスマスリースの材料としても人気です。

2023.12 発行